令和８年度 コスモストーク
～協働で築きあげるまちづくり～

市と地域の皆さまが意見交換を行う「コスモストーク」が終了しました。ご参加いただき、ありがとうございました。なお、各会場におけるご意見とアンケートの回答を記載した概要結果は各自治会に配布しております。皆さまからいただいた代表的なご意見・ご質問と、市の考え方をご紹介します。

子育て・教育

Q 子どもたちの教育を充実させるため、少人数、大人数の学校を選べる仕組みを導入し、教育の選択肢を広げるなど、不登校児童生徒の増加を踏まえ、取り残される児童生徒が出ない支援体制を検討してほしい。

少人数教育には、一人ひとりが発言しやすく、きめ細かな指導がしやすい良さがある。また、大人数教育には多様な意見に触れられる良さがある。それぞれの良さを生かしつつ、サポートルームの設置や支援員配置などの不登校支援にも取り組んでおり、今後も誰一人取り残さない教育を進めていく。





Q 部活動の地域移行はどの程度進んでいるのか。

部活動の地域展開については、チラシを全戸配布し、ホームページでも周知するなど指導員の募集などを行っているところであり、今年度は指導員の募集に６人の応募があるなど、調整を進めている。今後の計画としては令和 10 年度までに休日の活動、令和 13 年度までに平日の活動の完全地域展開を目指している。

Q 市文化祭について、来年度から他の団体と共同で催しを行うと聞いたが、考え方を説明してもらいたい。

市文化祭の開催にあたり、文化協会に所属する各団体に、来年度以降の文化祭のあり方について検討していただいている。各団体から出された、来場者が少ないという意見も踏まえ、来年度からは同日に複数の催しを行うことで、より多くの観客が見込めないかということで提案している。



Q 市立認定こども園の建設は施設が足りないからか、それとも新しく増やすためなのか。



相生保育所と矢野川保育所が耐震性不足であったため、使用できなくなったことに加え、今後の就学前保育のあり方を検討する中で、相生幼稚園、あおば幼稚園、矢野川幼稚園の３幼稚園と相生保育所と矢野川保育所の２保育所を統合し、効率的な運営と質の高い保育環境を整えるため、市立認定こども園を設置し運営する計画である。

都市整備

Q 国道２号線付近のアンダーパスが大雨時に冠水し、過去にポンプの故障が発生した。回転灯が運転者から見えにくく、下から上がってくる車両には特に認識しづらい。安心して通行できる道路とするため、改善してほしい。

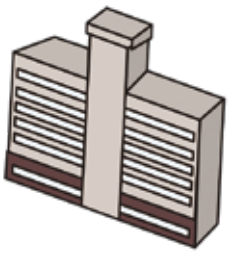
アンダーパスの冠水が複数回発生していることは把握しており、ポンプの点検時には問題なかったが、設備自体に不具合がある可能性も含めて確認し、雨天時のパトロールを強化する方針である。回転灯についても、警察からも見えにくいとの意見があったことを踏まえ、現在は、回転灯の位置を変更し、少しでも見えやすいよう対応している。

Q 有害鳥獣の被害対策として、市へ捕獲檻の設置等を要望した場合、地域としてはどのような役割を担うことになるか。



有害鳥獣対策については、日常的な環境整備が欠かせないため、地域の皆様には「適切な檻設置場所の提供」や「檻周辺の草刈り・ヤブの刈り払い」などへのご協力をお願いしている。
ご負担をおかけするが、被害を減らすためには、地域ぐるみの取組みが不可欠である。市・猟友会・地域が一体となった対策に、ご理解とご協力をお願いしたい。

Q 公営住宅建設事業は具体的にどのようなものなのか。また、どのような計画になっているか。



公営住宅建設事業は、４つある市営住宅を１つにまとめる統合事業であり、令和８年、９年度の２年間で基本設計、実施設計を行い、その後、令和 10 年度より建替えを行う予定である。

健康・医療

Q 市民病院は経営が厳しく施設も老朽化しているが、今後の計画はどうなっているか。

毎年赤字補填を行っている状況であるが、近年は常勤の内科医が赴任したことなどで入院患者が増加し、経営改善の兆しがある。最新機器の導入などは資金面での課題もあるが、医師の実績を通じた信頼獲得と、地域医療の受け皿としての役割を果たし、経営改善を目指していく。



Q 介護認定に一ヶ月ほどかかるのは長いため、もう少し短くできないか。

申請の件数がかなり多く、調査員の人数も限られていることから介護認定の手続きにお時間をいただいているところである。新たな雇用を行い、調査員を増員することで改善を図るなど、引き続き少しでも早く認定の結果報告ができるように努めていく。

産業・環境

Q 空き家を処分するための市の補助金等はあるか。

市の補助制度としては、倒壊等により周辺に危険が及ぶ恐れのある空き家の除却に対するものがあり、屋根や外壁に大きな穴が開くなど非常に状態の悪い空き家のみが対象である。



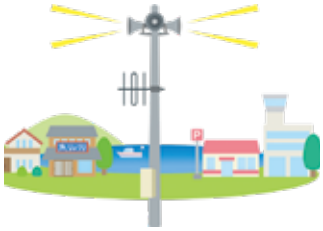


Q 相生地域エネルギーセンター整備に伴い、他地域からのごみ搬入車両が増えることで周辺道路の交通量や安全性に影響が出るのではないか。道路安全対策について、施設稼働後ではなく事前に検討してほしい。

相生地域エネルギーセンター建設に伴う事前の交通調査により、１日あたり約 180 台、１時間あたり約 30 台の通過を見込んでおり、大型車両については事業者に安全運転を徹底するよう指導している。運用開始後に危険な運転等が見られた場合は、市へご連絡いただければ直接事業者へ指導する。

防災・防犯

Q 地域の放送設備がなくなってしまい、一斉清掃などの連絡に困っている。自治会側で工事をするので、電柱にスピーカーを設置させてもらえないか。



防災行政無線の子局には自局で放送できるマイクを備え付けており、災害時など地域の方々に直接呼び掛けを行うことが可能となっている。平時から自治会単位で利用可能であるため、有事の際に備え、操作訓練を兼ねて自治会活動の呼びかけなどに放送設備を活用していただきたい。

行政一般

Q 現在のコスモストークはマンネリ化しており、年々参加者も減少している。世代別や分野別に行うことも検討すべきであると思うがどう考えているか。

コスモストークの参加者が年々減少していることについて、市としても危惧している。市民の皆様の多様な声をより広く、お聴きするためには、抜本的な見直しが必要であると認識している。今年度のコスモストークにて実施したアンケートにおいて、今後の実施手法についても皆様にご意見をいただいており、その結果を参考に、より多くの市民の皆様にご参加いただけるコスモストークの開催方法について検討していきたい。

Q 地域課題の解決には、企業誘致の積極的な推進などが有効であると思われるが、現在市としてどのような方針を持っているのか。また、持続可能な市政運営に向けて、どのような施策を検討または実施しているのか。

企業誘致は重要であると認識しているが、相生市ではまとまった用地の確保が難しく、売れ残りリスクのある市主体の産業団地造成は考えていない。当面は既存の遊休地活用や、既存企業の生産性向上などの振興に注力していく。一方で新たな誘致策として、民間主導の焼却施設建設に伴う関連産業の誘致を模索しており、関係企業との勉強会で協議を進め、地域経済活性化に向けた努力を継続していきたい。

令和８年度コスモストーク結果概要

各地区におけるご意見およびご質問、
アンケートへの回答は市ホームページに
掲載しています。

令和８年度コスモストーク結果概要　検索

スマホの人は
こちら！

